

「統合医療 理論と実践」正誤表

	誤	正
<p>Part 2. 286頁 13～29行</p>	<p>◎高齢者の音楽療法</p> <p>前出の調査¹⁴⁾では、認知症を<u>対象者との関わりから支援の方法に到達するまでの道筋</u>として、やはり音楽療法の主要な対象の一つです。また、高齢者の場合は認知症予防や加齢による機能低下などにも言及されます¹⁷⁾。佐々木らは、認知症をもつ人々に対して、<u>図1</u>のような音楽療法アプローチを考案しており¹⁸⁾、その役割を予防、リハビリテーション、ケアに分けて整理し、リハビリテーションではタウトらによる神経学的音楽療法などを推奨し、ケアにおいてはありのままの姿で、なおかつより良く生きていくことを支援するといった目標を上げてBPSD (Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia) の軽減に向けた音楽療法の可能性に言及しています。</p> <div style="text-align: center;"> </div>	<p>◎高齢者の音楽療法</p> <p>前出の調査¹⁴⁾では、認知症を<u>対象としたセッションは216 (21.6%)</u>を占めており、やはり音楽療法の主要な対象の一つです。また、高齢者の場合は認知症予防や加齢による機能低下などにも言及されます¹⁷⁾。佐々木らは、認知症をもつ人々に対して、<u>図1</u>のような音楽療法アプローチを考案しており¹⁸⁾、その役割を予防、リハビリテーション、ケアに分けて整理し、リハビリテーションではタウトらによる神経学的音楽療法などを推奨し、ケアにおいてはありのままの姿で、なおかつより良く生きていくことを支援するといった目標を上げてBPSD (Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia) の軽減に向けた音楽療法の可能性に言及しています。</p> <div style="text-align: center;"> </div>
<p>Part 2. 336頁</p>	<p>Q19 正しいのはどれか。 (1) ヒトゲノムの数は46本である。 (2) ヒト遺伝子の数は3万数千である。 (3) SNP解析では塩基配列を調べる。 (4) プロテオーム解析は蛋白を調べる。 (5) RNAは遺伝子の翻訳産物である。 a (1) (2) (3), b (1) (2) (5), c (1) (4) (5), <u>d (2) (3) (4)</u>, e (3) (4) (5)</p>	<p>Q19 正しいのはどれか。 (1) ヒトゲノムの数は46本である。 (2) ヒト遺伝子の数は3万数千である。 (3) SNP解析では塩基配列を調べる。 (4) プロテオーム解析は蛋白を調べる。 (5) RNAは遺伝子の翻訳産物である。 a (1) (2) (3), b (1) (2) (5), c (1) (4) (5), <u>d (3) (4)</u>, e (3) (4) (5)</p>
<p>Part 2. 346頁 左3行目</p>	<p>A3 : d</p>	<p>A3 : c</p>